

# 福島ロータリークラブ会報

RI 2015-16 のテーマ



世界へのプレゼントになろう

2015-16 RI 会長  
K.R. ラビンドラン

## 新会員スピーチ

三井生命保険㈱郡山支店 福島営業所営業部長  
安齋外科胃腸科医院 副院長

茂木 正志 会員  
安齋 圭一 会員

本日の  
プログラム

### 会長あいさつ

#### 第 18 回会長挨拶

幡 研一 会長



本日はプログラムがタイトですので、理事会報告のみ行います。

まず新会員の推薦がありました。みずほ証券福島支店支店長の、三木エリカ様が推薦され、理事会で承認されましたので報告致します。7日以内に書面にて異議申し立てが無ければ、クラブ会員として承認されることとなります。承認されれば、只今、入会式を行った熊坂仁美会員に続いて当クラブ4人目の女性会員となります。

次に新会員の所属委員会とカウンセラーについてですが、小原 敏会員の所属は国際奉仕委員会として、カウンセラーを日比野恒夫会員にお願い致します。

また、熊坂仁美会員はプログラム・ニコニコBOX委員会所属とし、カウンセラーは佐藤武彦会員にお願い致します。

本日のプログラムは、三井生命保険㈱郡山支店 福島営業所営業部長の茂木正志会員、及び安齋外科胃腸科医院副院長 安齋圭一会員ご両名の、新会員スピーチです。

なお、本日予定していた右近八郎会員の「ロータリー財団月間に因んで」のスピーチは本人の都合により、後日行うこととなりましたのでご了承お願い致します。

### 幹事報告

#### 例会変更のお知らせ

●福島北RC、17日(火)の例会、当福島RC次週19日の例会は15日の地区大会へ変更しております。尚、地区大会参加の皆様は、集合場所時間等を確認の上宜しく申し上げます。

#### その他のお知らせ

●本日11月理事会議事録を配布しております。新会員として1名推薦され承認されましたのでお知らせ致します。

### 例会次第

開会点鐘 幡 研一 会長

ロータリーソング「我等の生業」

ソングリーダー 岩山知弘 会員

お隣の方と〈好意と友情〉の握手

お客様並びに来訪ロータリアン紹介

●血圧測定

新会員入会式

会長挨拶 幡 研一 会長

新会員カウンセラー委嘱状の交付

食 事

幹事報告

箱岩 偉 幹事

各委員会報告

●プログラム・ニコニコBOX小委員会

12月プログラム/ニコニコBOX佐藤武彦 委員長

◎本日のプログラム

閉会点鐘 幡 研一 会長



### 例会プログラムのご案内

11月26日(木)

12:30 ~ 辰巳屋

- 地区大会報告 表彰伝達
- 新会員スピーチ 中尾根康宏会員
- 「私のひと言」スピーチ 日比野恒夫会員

12月3日(木)

12:30 ~ 辰巳屋

- 『年次総会』次年度役員理事の選挙
- 新会員スピーチ 本保 晃会員
- \*誕生祝い \*「四つのテスト」唱和
- \*「友」紹介 五阿弥宏安会員
- \* 12月理事会 18:00 (石林)

12月10日(木)

12:30 ~ 辰巳屋

- ゲストスピーチ 陸上自衛隊第6師団 第44普通科連隊長 兼 福島駐屯地司令1等陸佐 濱田 剛様
- \*「血圧測定」 \*プログラムご案内

12月17日(木)

12:30 ~ 辰巳屋

新会員スピーチ 加藤裕司会員、久保田吉朗会員

12月24日(木)

18:30 ~ 辰巳屋

「年忘れ家族会」

1月4日(月)

12:30 ~ 辰巳屋

「市内ロータリークラブ新年合同例会」

## 本日のプログラム①

## 新会員スピーチ

三井生命保険㈱郡山支店 福島営業所営業部長 茂木 正志 会員



皆さん、こんにちは。只今御紹介いただきました、三井生命保険の茂木でございます。本日はこのような場をいただき、誠にありがとうございます。改めまして、伝統ある福島ロータリークラブに入会させていただき、心より

感謝しております。

諸先輩方を前に大変僣越ではございますが、新会員スピーチとのことですので、私の自己紹介を兼ねまして、まだそこまで長くはない私のこれまでの人生の歩みについてお話させていただき、少しでも自分のことを知っていただく助けになればと思っております。

私は35年前の東京都多摩市に、茂木家の長男として生を受けました。名前の「正志」は、正しい志を持った人間に育てて欲しい、との両親の想いが込められているようですが、この35年間、そのように生きてこれたかどうかは甚だ疑問ではあります。

私が生まれた頃の東京都多摩市は、「多摩ニュータウン」の中心地で、当時とはとにかく人と活気に溢れていたことを覚えています。今では「〇〇ニュータウン」というもの自体珍しくありませんが、私の住んでいた地区も、当時としては結構な人口増加率であり、幼稚園や小学校が地区毎に整備されていました。その後私は家庭の事情で父の実家のある調布市に引越しましたが、私が大学生になる頃にはニュータウンで高齢化が進み、人口流出により廃墟のような街並みとなっていたことが少し寂しく思えたのを覚えています。

そんな多摩市を離れ、東京都調布市で小学校から大学卒業までを過ごすことになりました。住んでいた時間が長いことありますが、今の私の人格はこの調布での生活で形成されたものであると確信しています。東京といっても、調布は自然豊かで緑も多く都会を感じさせない古い街並みが随所にあふれており、小学生の頃は小川や裏山で遅くまで友達と遊んでいたことを思い出します。また調布には、日活撮影所やあの石原プロモーションの事務所があったので、館ひろしや神田正輝などの所属俳優とよく遭遇しました。そのオーラに影響され、私も一時は芸能人を目指そうかと考えたこともありました。が、当然親に反対されてすぐに夢はしぼみました。

もう一つ、私の人格形成に大きな影響を与えたのが、小学生から始めたサッカーでした。それまで何のスポーツもやっていなかった自分は、毎朝の練習から土日の試合まで、サッカー漬けの日々を送り、訳もわからずただひたすらボールを追いかけていました。たまたま小学校のサッカー部が地区の強豪であったこともありますが、結果的に社会人になってからもサッカー

を続けていることを考えると、よほど自分には合っていたのかな、と思っています。

そんな何気なく始めたサッカーですが、小学校の時には都大会で優勝も経験し、当時日本で有名であった読売クラブのジュニア組織への推薦をいただくことができました。ですが、根性の無かった私は、楽しくサッカーが出来ないほどの厳しい練習や競争の世界に恐怖を感じたこともあり、その推薦を断り公立中学へ進みました。この時点で、私のサッカー選手への道は閉ざされた、と自覚しています。その後、中学校、高校と全て公立校に進んだ私のサッカー人生は、再び光を浴びることなく、今に至っています。ただ唯一、自分のサッカー人生において誇れる点があるとすれば、私の母校である都立三鷹高校が、都の代表として選手権大会に2度参加したことです。当時東京を離れていた私も、同期のサッカー部員と共に毎試合応援に行きました。今でも時間が合えば、東京に帰った時には当時の仲間とサッカーをして楽しんでいます。今になって思えば、サッカーを通じて学んだことは数知れず、サッカーを通じて得たモノも数知れずあり、私という人間はサッカーを通じて知り合った人々に育ててもらった、と心から感謝をしています。

さて、高校でサッカーに明け暮れた私は、仲間もろとも当然の如く大学受験に失敗し、予備校に飛び込みました。午前中は授業、午後はカラオケ、たった1年の浪人生活でしたが、同じ目標に向かい切磋琢磨する仲間と、悲喜こもごもの時間を過ごす事ができたのは、本当に貴重な経験でした。

その後東京都立大学に合格した私は、バラ色の大学生活とは程遠いガリ勉と化しました。少人数制で学校も東京の端にあったため、大学1,2年時は学業とバイトに明け暮れる毎日でした。順調に単位も取得、3年生が始まる頃には、卒業までに必要な単位の4分の3以上を取得するまでになっていました。しかもバイトで稼いだお金を使う機会もなく、約200万の貯金を抱える学生となっていました。しかし、何の達成感もなく過ごしてきた2年間に危機感を感じた私は、学生の間に好きな事を好きなだけやってみようと考えようになり、社会人になる前に色んな経験を積もうと、1人旅の計画に着手しました。学業に支障をきたさない範囲で全国周遊の旅を繰り返し、様々なモノを見て、聞いて、学ぶ2年間を送りました。集大成となった卒業旅行では、世界遺産を見るためだけにイタリアへ出発、2週間で10箇所以上の遺産を見て回る過酷な貧乏旅行を経験しました。さらに帰国後、残り10万の資金を使い切るために、行きと帰りの航空券のみを購入、単身タイからシンガポールまで実質10日間で縦断する無謀なチャレンジを行いました。現地では、両替を忘れたまま国境を通過し途方に暮れていたところを、同じ単身旅行者の日本人に助けをもらうなど、日本では到底経験できないことを体験することが出来ました。ちなみにこの旅行での最大の勲章として、帰国時に成田

空港で一時的に疫病感染者として検査、隔離されるという貴重な経験を積むことができました。当然、何事もなく無事に開放されました。こうして、大学3年生が始まり大学を卒業するまでに、目標通り貯金を全て使い果たすことに成功、社会人としての生活が始まる前に大きな達成感を得たと同時に、最高の思い出を作ることが出来ました。

そんな最高の経験から1週間も経たないうちに、私は今勤務する三井生命保険株式会社に入社しました。いち早く就職活動を終えたかった私は、一番最初に自分を認めていただいた会社に行こうと始めから決めていました。両親としては、転勤のない職種を希望していたようですが、私はこの三井生命に骨を埋める覚悟で、初日の入社式に向かったことを今でも覚えています。

入社後の私は早期に転勤の辞令が下り、営業現場にて勤務する姿を想像していましたが、一転して本社勤務となりました。一番年齢に近い人で一回り以上違う、同世代が1人もいない部門でしたが、新規立ち上げの部門であったことから、入社1年目の頃から先輩に付いて役員室に出入りすることも珍しくありませんでした。結局、新人としては異例とも言える3年半もの期間を本社の単一部分門で過ごすことになりましたが、この時の経験が今の社会人生活の基本を身につけてくれた、と感じています。ですが、当時の私はそこまで頭が回らず、とにかく早く営業現場に出ることを考えて仕事をしていました。

その後、ようやく希望を通してもらい、営業研修室に発令を受けました。今思えば、この部署での短くも中身の濃い経験が、今の営業部長としての自分を支えてくれています。この部署はその名の通り、営業部長候補生を育成する部署であり、半年の募集訓練と半年の支社訓練の後に、見習いとして現場に配属される、会社でも誰もが通る登竜門的な部署でした。年次もバラバラな研修生が30名程度、教官と呼ばれる厳しい指導者の下で、全寮制の学校にタイムスリップしたかのような管理下に置かれ、生命保険営業の基礎から習得すべく徹底的な指導を受けました。

その研修室での名物研修が、「自衛隊体験入隊」でした。一般企業のサラリーマンが東京にある陸上自衛隊駐屯地に2泊3日体験入隊するという、当時は色々な会社で採用され人気を博していたものでした。我々も楽しみ半分で駐屯地に向かいましたが、人気とは裏腹にメニューは過酷なものでした。とにかく気が狂うくらいに「連帯責任」と「腕立て伏せ」という言葉が連呼され、1日で体はボロボロになりました。食事も風呂も時間が決められており、ゆっくり過ごせるのは夜だけと皆が思っていました。しかしその夜の静寂も長くは続きません。朝4時にすぐに叩き起こされると、まだ暗い中を20キロの荷物を背負って10キロ行軍に出発、食事は缶詰のみ、と倒れる者が出るほどの過酷さでした。駐屯地にいる間は自分は何の為に社会人となった

のか、将来を見失いかけていましたが、一方で自衛隊員の方々の苦労や努力を実感し、災害派遣時など感謝の気持ちを覚えた、貴重な経験となりました。

その後も苛烈な研修が続きましたが、充実していた半面非常に残念なこともありました。研修室に入る前から耳にはしてはいましたが、研修の厳しさからか、この1年の間に約3分の1ほどの仲間が会社を離れる決断を下し、各々が新たな会社へと旅立っていきました。そんな状況が続く内に、当の私もブームに流され始めると、入社時の気持ちはどこかへ吹き飛び、このまま三井生命にいる事が正しいのかどうか、わからなくなっていました。そんな不安と葛藤の中、研修後半の教官との面談に臨みました。まだまだ青かった私は、涙をこらえて研修の日々を振り返る内に、何も成し得てもない中で逃げて退社する位ならば、いっその事やるだけやってクビになってやろう、と考えるようになりました。今思えば教官達の思惑通りであったのかも知れませんが、結果として会社に残ったことで、ここまで営業現場を歩いてくることが出来ました。現場の長としての自分があるのは、間違いなくこの研修室での1年があるからだと感じています。

研修室を出てからは、東京、愛知(豊田市)、北海道(室蘭市)、新潟(新潟市)、広島(広島市)と転勤を繰り返し、5店目として福島にやってきた、というのが私の会社歴となります。

各拠点での思い出話もお話したいのですが、お時間の都合もありますので、又どこかの機会でご披露させていただければと思っています。

最後に一つだけお話しして終了としたいと思います。

私は、これまでお話ししたように生命保険会社に勤め、数え切れないほどの保険を募集し、一方で数え切れないほどの保険金支払の場に立ち会ってきました。喜ばれる方も、悲しまれる方も、それぞれ沢山いらっしゃいました。怪我をした方や亡くなられた方のために、名前も顔も知らない契約者の皆さんから保険料という形で集められたお金を、保険金という形で遺族にお支払いする、これが生命保険の原型です。ある人が何気なく生命保険に加入いただいたとしたら、それは目に見えないほどの多くの人の役に立つことなのです。無償の奉仕、とも言えるかも知れません。私は、そんな生命保険の仕事を誇りに思っていますし、このロータリークラブでも、同じ想いで奉仕に努めることが、福島ロータリークラブに入会させていただいた自分の使命と思っています。足りないことばかりの自分ではありますが、先輩の皆様のご指導、ご支援をいただきながら、福島のため、そして日本のためになるように、このロータリークラブで自分を成長させていきたいと思っております。今後とも、どうぞ宜しくお願い致します。

本日はご清聴ありがとうございました。

## 本日のプログラム②

## 新会員スピーチ

安齋外科胃腸科医院 副院長 安齋 圭一 会員



7月に入会させていただきました医療法人安齋外科胃腸科医院の安齋圭一です。ちなみに本日まで皆勤で出席しております。本日は新入会スピーチとして、私のプロフィール、趣味、仕事について話をさせていただきます。

私よりもかなり入会が早い会員の方々の新入会員スピーチをお聞きして、私は来年になってからかなと内心考えておりましたので、先週急に新人スピーチをと連絡を受け正直驚いた次第です。

## ◎生まれてから現在まで

私は生まれも育ちも福島の根っからの福島市民です。5歳までは母の実家の近くで飯坂町湯野に住んでおりました。父の仕事の関係で会津田島町に1年ほど住んだこともありました。幼稚園の年長の時、福島市に転居し、はじめは新浜公園のすぐ裏の借家、次に文化センター近くの春日町の借家に住み、小学5年生の時に父が今のクリニックがある北五老内町に外科胃腸科を開業しその3階が自宅でした。現在はクリニックから500mほどのところにあるマンションに住んでおります。福島大学附属小学校、附属中学校、福島県立福島高等学校を卒業しました。東京で1年間の浪人生活の後、福島県立医科大学に入学しました。当時は大学が県庁の隣にありましたので、自宅から自転車で通学しており、小学校、中学校、高校、大学がすべて自宅から半径1キロ圏内というものすごく狭いエリアで生活しておりました。大学5年時に大学病院が現在の場所に移転しましたので、5年時から車で通学しておりました。

大学を卒業し医師国家試験に合格後、当時阿部力哉会員が教授をされておりました外科学第二講座に入局しました。大学卒業後2年近くは自宅から通勤しておりましたので、社会人になっても生活はあまり変わらなかったです。医者になって半年もすると、現在の研修医とは違っていろいろな病院でアルバイトをしたのですが、月に13回は当直をしており、当直以外の日も帰宅は11時12時でしたので、両親と顔を合わせるのは月に1・2度程度で、父からはしばしば「おまえ、何してるんだ」といわれておりました。当時は今のような研修制度はなく、医局からの収入はごくわずかで、病院への出向で得られるアルバイト代で生活しておりました。銀行に就職していた友人にその話をしたところ、若い医者にはカードローンを組めないなといわれたほどでした。まあ、これは私に限ったことではなく、当時の若い医局員はみな同じだったと思います。

私が入局した頃は土屋敦雄会員が助教授をされておりましたので、このクラブには私の恩師が2名在籍しております。第二外科では、乳腺グループ、甲状腺グループ、胃大

腸の消化器グループ、肝臓胆嚢膵臓の肝胆膵グループをまわり外科修行を行いました。また在局時代に郡山の星総合病院外科、太田西の内病院外科、二本松の枳記念病院外科でも勤務しております。平成10年鎌田の大原総合病院附属大原医療センター外科に赴任して6年間勤務し、平成16年、40歳のとき現在の安齋外科胃腸科医院にもどって、父と一緒に働いております。父が開業したのが39歳ですのでほとんど同じ時期に開業医になりました。私のクリニックは父が開業してから42年経過しており、最近はおちこちと故障が頻発しております。昨年も水道管が破裂して、階段廊下が水浸しになりました。私が戻ったときにもともと病棟があった2階を改修し、私用の綺麗な第二診察室と第二待合室を作ったのですが、現在は父が新しいきれいな診察室で診療しています。

## ◎仕事について

勤務医時代は毎日、癌やヘルニアの手術、抗癌剤治療、緩和医療と忙しく働いておりましたが、開業医になるにあたり、外科医としてはメスを置かなくてはならず、少なからず躊躇はありました。それでも漢方治療に専念できるという新しい希望もあり何とか新しい生活に入ることができました。現在、私の仕事は町医者として、糖尿病や高血圧といった内科系疾患の対応、捻挫や打撲、小さな切り傷などの外科の治療、漢方薬を通して様々な疾患の対応と多岐にわたります。のちほど漢方については話しますが、外傷治療も得意です。聞いたことがある方も多いかもしれませんが、今切り傷や擦り傷はイソジンなどの消毒液を使わず生理食塩水やきれいな水道水で十分に洗浄し、傷口を乾燥させないで治す湿潤療法にこだわっております。

## ◎趣味 クラブ

中学時代はサッカーをしておりましたが、高校ではりっぱに帰宅部でした。大学ではテニスに明け暮れておりました。私が学生時代に大学で教授をされていた茂田士郎会員、白岩康夫会員、阿部力哉会員を前に話すのは少しどうかと思いますが、当時は授業を抜け出して(サボって)、テニス部の同級生4人で午前中からテニスの練習をすることもしばしばあり、よく昼飯をかけて試合をしておりました。まあ、4人の中にはインカレ選手もおりましたので、いつもおごらされておりましたが。

学生時代の思い出は、テニスともう一つ海外旅行があります。大学4年生の時に友人と2人でカナダ1周の安旅行をしました。いわゆるバックパックというものです。大きなリュックを背負って、安宿に泊まりながら2週間ほど旅行しました。3年生の時に一度ツアーでヨーロッパには行っておりましたが、自由気ままなバックパック旅行に魅せられてしまいました。5年の夏休みは、クラブの試合が終わってから、1人でギリシャ、エジプト、トルコを23日間旅行しました。いま

では日本人にも大人気のトルコですが、30年前はイスタンブールでさえ、1日歩き回って1人も日本人を見ないくらいでした。夜行バスでカッパドキアへも行きましたが、1泊750円くらいのホテルに泊まっていた。トルコで食べたドネルケバブは安くて美味しく大好きになったので、各地でドネルケバブが売られているのを見つけるとつい買ってしまおうのですが、トルコで食べたものとは別物でした。6年の春は合併前の西ドイツに2週間の1人旅でしたが、ユースホテルなどを泊まり歩き、泊まって食べて酒を飲んで観光して1日3,500円で旅行しました。6年の夏はさすがに国家試験の勉強があり、長期間は無理でしたが、返還前の香港をブラブラしてきました。卒業旅行では友人と2人でフランス、スペイン、イタリアと廻りました。イタリアではカプリ島の青の洞窟のなんともいえないきれいな青が印象に残っています。

医者になってからも夏休みには海外に行っておりましたが、5年目にスキューバダイビングに目覚めてしまい、目的地がモルディブ、パラオ、グレートバリアリーフ、エジプトの紅海（最近飛行機墜落事故でしばしば耳にしたシャルム エル シェイクでダイビングしました）、沖縄、慶良間、石垣島などに変わってしまいました。しかし子供が生まれてからはほとんど行っておらず、ダイビングのログブックも99本で止まったままです。

### ◎漢方について

ところで、私は福島ロータリークラブに入会するにあたり、「漢方医」という一風変わった職種で登録をいたしました。先ほど話しました私の経歴には、漢方など全く出てこないのですが、実は漢方についてはほとんど独学で勉強してきました。今でこそ全国の医学部で漢方の授業は当たり前なのですが、我々の学生の頃は漢方など全くありませんでした。私も卒後5年目までは全くのアンチ漢方派でした。なんであんな古いものが必要なのと言ったところですよ。今でもそのように考えるお医者さんは少なくありません。私もそのひとりでした。

5年目に郡山の太田西の内病院外科で勤務していたとき、1人の乳癌の患者さんを受け持ちました。自分で執刀して無事退院できたのですが、退院してしばらく経った外来で「眠れない」「食べられない」「身体がこわい」との訴えがありましたが、検査では特に異常はありませんでした。その患者さんがある日突然救急車で来院してしまいました。再度入院していろいろ調べましたがやはり異常は見つかりません。睡眠薬や安定剤でも全く効果はありませんでした。正直な所、何科に紹介したら良いのかも見当がつかず困っていたときに、たまたまツムラの漢方薬が記載された手帳が目に入りました。漢方薬なら特に副作用などないだろうから、今後の方針が立つまで、飲んでもらおうと考え、その手帳の中からあれこれ探して八味地黄丸という漢

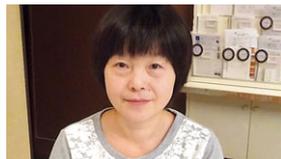
方薬を処方しました。全く効果には期待していませんでしたが、処方した翌朝でした。回診にいったみると「昨日はよく眠れました」「朝ご飯も美味しく頂きました」と話されました。私としては一体何が起こったのか理解に苦しむほどでした。それから数日してその患者さんは退院していきました。全くのビギナーズラックでした。もしかして漢方薬って効くのかなと考え、風邪をひいたときに自分自身で葛根湯を飲んでみました。すると1日で治ってしまいました。これには驚きました。まもなく大学病院に戻ったのですが、早速大学の紀伊國屋書店に漢方の本を探しに行ったのですが、なかなか見つからず、やっと埃がかかった古めかしい本が1冊だけ見つかり購入しました。中身は今まで読んできた医学書とは全く異なることがぎゅーと書かれており、驚きとともにこんな医学があるのかと感心してしまいました。これが私の漢方人生の始まりでした。その後は学会に入り、各種のセミナーに参加しなくなりましたが、多くの先生方の話を聞き、自分で飲んで効果を確認、患者さんに処方してマスターしていきました。漢方の学会である日本東洋医学会の漢方専門医の試験を受けて合格し、専門医を標榜できるようになりました。現在は福島県立医科大学で医師を対象にした勉強会を年に6回ほど開いています。それ以外に漢方薬の株式会社ツムラの依頼を受けて、漢方に興味がある医師を対象にしたセミナーの講師を全国で行っております。北海道から九州まで、そのような漢方の講義を年間35回程度行っております。日曜日のセミナーでは10時から16時まで昼休みの30分を除いて話しっぱなしですので結構疲れます。先週は仙台で、先々週は岐阜でした。来月初めは鹿児島島の予定です。

風邪や二日酔いばかりが漢方薬ではありません。漢方薬は現代医学のなかでも様々に応用され、益々ニーズは広がっているのですが、最近財務省の医療財政健全化の一環として湿布や感冒薬などとともに漢方薬を保険診療から外そうという動きがみられ心配しています。漢方薬はすべて合計しても薬剤費全体の2%しかありませんので、どれほどの緊縮効果があるか甚だ疑問です。しかもこの提案をするのは漢方のことなど全く知らない経済学の教授です。漢方薬は薬局で普通に売っているじゃないかというのです。彼らの頭の中に描く漢方薬のイメージは、ドラッグストアで売っている葛根湯くらいではないでしょうか。保険では148種のエキス剤が保険適応になっており、風邪ばかりでなくさまざまな疾患に応用でき、漢方薬によって助けられた患者さんは数多くいます。もし皆様も署名活動等でご協力いただければ幸いです。

漢方というちょっと変わった分野ですが、皆様のお役に立てるように、これからもロータリー活動に邁進いたしますので、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

お客様並びに来訪ロータリアン紹介

● 血圧測定  
児玉胃腸科内科医院 看護師  
いちば みな  
**市場 美奈 様**



新会員カウンセラー委嘱状の交付

**日比野恒夫 会員**  
…小原 敏会員の  
カウンセラーを委嘱



**佐藤 武彦 会員**  
…熊坂仁美会員の  
カウンセラーを委嘱



新会員入会式

(株)ソーシャルメディア研究所  
代表取締役  
くまさか ひとみ  
**熊坂 仁美 様**  
(紹介…後藤忠久 会員)



※後日、プロフィール等ご紹介させていただきます。

私のひとこと

日比野恒夫 会員



私の趣味＝靨趣味

子供の頃の夢が鉄道の運転手でした。高校時代にHOゲージに出会いアルバイトをして当時7,000円程のHOゲージを購入したのがきっかけとなり、その後日本が誇る蒸気機関車を購入し見惚れる毎日でした。20年前に私はこの楽しみを皆で分かち合いたいと思い、福島鉄道模型の会を発足し今現在15名の会員で活動しています。福島駅にジオラマを作り皆さまに観て楽しんで頂けるようになっております。今後もこの趣味を皆さまと もっと楽しみ、広げていきたいと楽しんで参ります。



ニコニコBOX報告 <報告>佐藤武彦 委員長

本日のニコニコBOX投入額 21件 **¥41,000** 累計 **¥1,032,000**

幡 研一 会長

熊坂 仁美 会員の入会を歓迎して。茂木会員、安齋会員のスピーチ楽しみです。

熊坂 仁美 新会員

本日から入会させて頂きました。どうぞ宜しくお願い致します。

後藤 忠久 会員

本日より入会されます熊坂仁美様を宜しくお願い致します。

山内 功 会員

寒くなりました、私は少々風邪を引いてしまいましたが、皆様ご自愛下さい。

茂木 正志 会員

本日、新会員スピーチをさせて頂きます。今後とも宜しくお願い致します。

白岩 康夫 会員

15日は南相馬市で地区大会です。本日期日前投票を済ませてきました。

相良 元章 会員

私が所属しているNPO法人が主催するクリスマスコン

サートのご案内をテーブルに置かせて頂きました。お子様、お孫様のご来場を心よりお待ちしております。

丹治 正博 会員

間もなく七五三の15日が参ります。この日は、徳川五代目将軍綱吉が愛子の徳松君のために、一年で一番良い日、つまり収穫月の満月の日に七五三を行ったことに由来します。今日も境内は紅葉の中、子ども達の歓声がこだましています。

茂田 士郎 会員

文化の日に仙台の特養施設に入所している88歳の姉を見舞いました。同じ施設に入所している93歳の男性の中支(中部支那)での戦争の話を傾聴して来ました。私の知らなかったことを色々とお教えられました。

他に／箱岩 偉幹事／加藤義朋会員／菅野晴隆会員／信国一朗会員／井上賢司会員／土屋敦雄会員／今井 康会員／安藤健次郎会員／森岡幸江会員／藤井高志会員／古俣 猛会員／佐藤武彦会員